



営農生活課
森永諭

年生イネ科雑草に効果があるだけでなく、広葉雑草やカヤツリグサ科雑草にも高い除草効果を示します。また、ホタルイや塊茎雑草のコウキヤガラ、クログワイ・オモダカ等の密度軽減、畦畔から侵入する雑草を抑制します。

規格は1キロ粒剤、豆つぶ剤、ジャンボ、フロアブルがございます。使用時期については、次のとおりです。なお、移植時に使用できるのは、1キロ粒剤とフロアブルのみになります。

○中・後期除草剤
『ツイゲキ』



◎ 水稻除草剤の紹介と
注意すべき水稻雑草

4月に入り、水稻栽培をされている方は、4年産米の栽培に向けて田んぼの準備をする時期だと思えます。今回は、最近登場した水稻の除草剤と水稻雑草を紹介いたします。

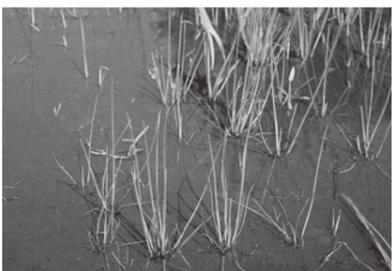
○ 初期中期一発処理除草剤
『プライオリティ』



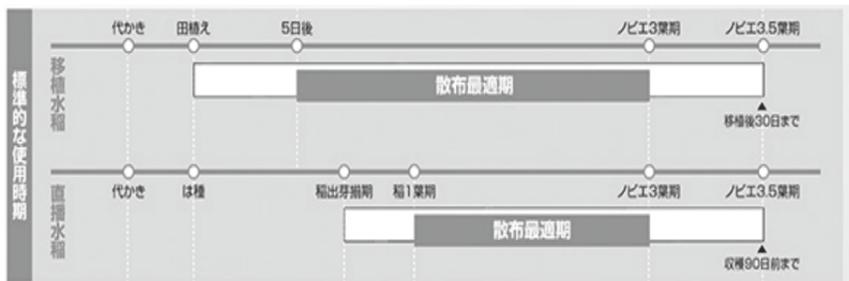
新規成分の「エフィード」含有の一発除草剤となります。エフィードの特長として、一年生雑草や多



イヌホタルイ



クログワイ



プライオリティと同じくエフィードを含有した除草剤です。1キロ粒剤と豆つぶ剤がございます。ノビエ、一年生広葉雑草、多年生雑草など幅広い草種に効果があります。塊茎が抽出したホタルイや生育ステージの進んだクログワイやオモダカにも有効です。

ツイゲキの特長としては、『アトリ1キロ粒剤』1袋分の成分(ピリミスルファン0.75%)が入っていること、効果の出現が早いことが挙げられます。初期除草剤や一発除草剤で取りこぼしたり、後発生した雑草に対して高い効果が得られますので、試してみたいかがでしょうか。

使用適期は次の通りです。

◎ 注意！特定外来水生植物

近年、千葉県北部でも特定外来水生植物であるナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイの発生がみられるようになりました。印旛沼及び手賀沼とその流域河川では急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や農業・漁業被害などが懸念されています。また、どちらも水陸両生なので、畔や畑地にも侵入します。



白い花が咲き、葉はやや尖る

○ ナガエツルノゲイトウ



黄色い花が咲く

○ オオバナミズキンバイ

を出し、繁殖します。シロツメクサやスベリヒユ等と見分けが付きにくいので注意が必要です。

オオバナミズキンバイもナガエツルノゲイトウと同じく群落となり、水面に広がります。生育条件によっては茎の断片や1枚の葉からも根を出し、繁殖します。また、どちらも水陸両生なので、畔や畑地にも侵入します。

○ 駆除について

水田内で発生が見られた場合は、水稻用除草剤(初期剤や初中期剤)の体系処理で防除します。とくに

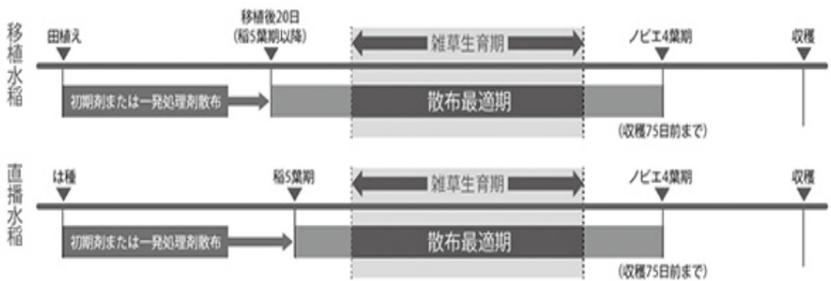
給水栓まわりや畔際の防除を徹底します。

これらの植物は、茎や葉の断片からも再生するため、断片が流れ出してしまわないように注意するとともに、人力により根や茎をできるだけ残さないように丁寧な駆除作業をする必要があります。除作業が終わった場所でも、根や茎がわずかでも取り残されていれば、そこから再生が起きますので、作業後も定期的に巡回・監視を行う必要があります。

また、ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイの侵入が確認された農地とトラクターなどの農機を共用する場合、未侵入農地の作業を先に行ったり、侵入農地での作業後は泥落としなどの農機洗浄を徹底してください。

※ 農薬使用上の注意

農薬を使用する際は容器などに記載されたラベルの内容に従って正しく使用しましょう。農薬システムの使用回数に注意し、ローテーション防除を心がけましょう。



ナガエツルノゲイトウは、繁殖力が非常に強く大群落となり水面をマット状に覆います。茎に節があり、茎が千切れても、節から根